

えいらい

No.16

平成 25 年 4 月発行

発行元／一般財団法人永頼会 松山市民病院

春号
2013



〒790-0067 愛媛県松山市大手町 2 丁目 6-5 TEL / 089-943-1151 FAX / 089-947-0026
発行責任者／院長 山本祐司 編集／松山市民病院広報委員会

就任挨拶

～一般財団法人への移行を終えて～

事務長 花本 雄二



この度、松山市民病院は平成25年4月1日をもって「財団法人永頼会」から「一般財団法人永頼会」に移行いたしました。その最初の事務長を拝命し就任することになり、大変身の引き締まる思いと共にその責任の重さを感じております。微力ではございますが、地域医療と自院の発展のために努めてまいりますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

この法人の変更は平成20年に施行された公益法人制度改革により、公益が一般財団への移行を求められて行ったものです。公益財団への移行も検討いたしましたが、認定取得条件の「公益目的事業比率が5割以上」という要件を満たせず断念いたしました。申請準備では各方面の方々に助言、協力をいただきながら、新しい定款の作成、ガバナンスの整理、そして会計制度の変更、修正並びに規約作りなど多くの内容を整備いたしました。昨年11月に本申請を行い、この4月に移行認可の運びとなりました。

これまで、平成23年4月に事務部門を総務部、経理部、医療事務部の3部制に組織変更を行い、各部の業務の自立性と相互連携の強化を行ってきました。昨年は医療事務内容について分析、見直しなど外部評価も受けました。また、ドック・健診係は課に昇格し予防医療の強化にも取り組みました。

新法人となった今年度はさらなる変革の時期を迎えました。4月にSPD (Supply Processing and Distribution) 室を新たに組織し、今まで伝票で行っていた医療材料の医事請求や物品の管理、発注関係の事務作業をシステム化します。医療資源の無駄を省きフロア効率を上げるという重要な役割を

担います。来年3月の電子カルテ稼働に合わせてSPDシステムを連動させ、さらに省力化に繋げる予定です。

現在南棟の建て替え中ですが、来年1月に一期工事、再来年3月に二期工事が完了します。それらと並行して医療機器の導入や院内業務のIT化を進め、事務部門の合理化・強化を図っていきたく思っております。今年度からは医局会議や看護師長会議に出席して、事務部門と診療部門とのコミュニケーションを図り、積極的な企画提案や情報交換も行います。今までより診療部門の負担が軽減されるよう努力してまいります。

また、看護副部長を地域連携室室長に迎え、看護師3人（うち1人はケアマネージャー）と事務職3人の体制で地域連携室を強化いたしました。今後も、医療だけでなく介護を含めたシームレスな地域連携がますます必要となるでしょう。

我が国は急速な高齢化社会を迎え社会保障費は増加の一途で、医療費についても自然増だけでも毎年3%になります。その財源確保のための政策が議論され、来年には消費税も増税になります。また、現政権が打ち出しているアベノミクスは輸出関連企業の財務内容を好転させてはいるようですが、医療機関にはその効果がすぐに現れそうにありません。

自院の掲げる今年のスローガン、地域医療における「信頼と実践」が職員のあらゆる場面で活かされるよう、職員が一丸となって新しい病院組織の活性化に取り組みたいと思います。これからも引き続き変わらぬご支援、ご協力をお願いいたしまして就任の挨拶とさせていただきます。